

## 平成30年度 第1回米子市環境審議会議事録概要

- ・会 長           それでは、日程に従いまして、3の報告事項について、事務局から説明をお願いします。

### 報告事項「米子市環境基本計画の進捗状況等について」

#### ～ 事務局から資料2「進捗状況報告書」についての説明 ～

#### 【基本目標1】『地球環境に配慮した循環型のまちづくり』について

- ・会 長           事務局から、基本目標の1について、進捗状況の説明がありましたが、ここまでについて、ご意見、ご質問がございますでしょうか。
- ・A委員           ナンバー7の「自動車利用の抑制」の中で、「本年度における具体的な事業実績なし」とあるのですが、どうして今年度されなかったのかというのが第1点と、それから、ナンバー18の「廃棄物の適正処理」の(39)と(40)のところで、「新たな最終処分場について、鳥取県西部広域うんぬん」と書いてあるんですけど、現実的にいままだあの土地は産廃場になるっていうわけでもまだ正式決まっていませんし、いまあるところは、第3期までということできている、決まっている最終処分場としてあって、あそこの土地、3分の1ですかね、まだまだ米子市の土地があるという中では、米子市の一番大事なのは、西部広域でも、市の、市民に対する責任というのが、市長にある、市にあると思うんですけども、一般廃棄物処分場です。それについては、そこも含めて候補として検討されているのかどうか。すこし、中身が。この西部広域で構成市町村と進んだと二重丸がついていますが、中身について教えていただけませんか。その2点について、ご質問させてください。
- ・会 長           まずは、自動車利用の抑制、ノーマイカーデーのところから、お願いします。
- ・事務局           ノーマイカーデーについて、市民や事業者の皆さんにご協力をしていただくには、公共交通機関の整備や公共交通政策と一緒にやって取り組みしていく必要があると思っております、その検討ができていないというところで、近隣市の状況としましても、逆に問合せもあるのですが、できていないようでして、今後、自転車利用をメインに考えていかなければならないと思っております

が、自転車通勤に関しては、既に鳥取県さんがやられているので、違ったかたちでと考えております。

・ A委員           重ねてはなりますが、以前はどんなことをされたのでしょうか。あと、公共交通機関ということでは、淀江も含めて新たな公共交通政策みたいなもので、淀江地区のことでどこかの会社と契約したという話もありますけども、そういうことも含めての検討が今後されるということでしょうか。

・ 事務局           以前の取り組みについてでございますけども、以前は、ご案内のとおり、ノーマイカーデーというのを設定して取り組んできたということでございますが、近年、そこからシフトしてきたということでございます。それから、公共交通機関につきましては、このたび新たなセクションを作って、全体的な体系ということで、淀江もですけど、米子市内も含めての、総合的な検討しはじめたところでございます。その中で、どのように関わっていけるかというのが、これからのところでございます。

・ A委員           その中で、そういう意味での検討はされていくでしょうと、一緒になってされていくでしょうということですね。

・ 事務局           はい。すでに、公共交通の方でも検討は始まっていますので。

・ 会 長           ノーマイカーデーというのは、一斉にする必要は全然ないと思うんです。鳥取県の自転車じゃないんですけど、月に何日間であるとか、自転車でいきましょうね、というのは、米子市が啓発という意味では、いろいろできますので。一斉にやるとパニックになるので、みんな困るんで。乗り合わせましょうよ、というのもひとつだし、そういったような文言があるようなポスターを作るんであるとか、そういった意味で、推進をよろしく願います。

続きまして、ごみ処理に関してですかね。

・ 事務局           新たな最終処分場、可燃物処理場につきましては、この30年の4月に、西部広域の方で検討委員会をたち上げまして、構成市町村が検討を始めているところでございます。で、場所の選定はどこにするかというのは、まったく白紙の状態でいま検討が始まったところでございます。ご指摘のありました、第3期の場所というのは、実際には、第3期ということが決まったわけではござい

ません。というのが、市の理解でございますので、2期までのところが決まっております。いわゆる3期と言われているところをどうするかというのは、まだこれからの段階ということでございます。そこも含めて、広い広域の中で、どこに一般廃棄物の最終処分場を作っていくかというところで、検討が始まったところでございます。

・A委員

そういう意味で言うと、いま現実あって、すでに淀江町との間では、そういうかたちでそれ以外に使わない、一般廃棄物処分場として使わないといった土地の中が、米子市に同等合併というかたちだったので、そういういまみたいなかたちになっているんですけども、現実的に新たに探すとなると、すごいコスト問題なんかもあると思うので、コストがどう違うのかという、現状を使ったときどうなるのかというコストと、新たに探したときに、どんな問題があつて、どういうコストがかかるかというところも含めて検討いただかないと、3期は決まってなくて、2期までだから新しく、ではなくて、3期、そこも含めての検討が、市民としては、コスト問題も含めて考えていただきたい。検討の中身としては、それも含めてあるんじゃないかと。すでに、そこは産廃になるんだよ、みたいな感じで受け止められやすいので、新たに探すというのは。現実、ここも候補ですよということをはずすことがないんじゃないか、現実問題。その辺も含めた検討は、特にいまは、産廃のところは、関係住民と、県の事業センターとまだ平行線ということを聞きますので、そういう意味では、まず米子市は、市民のことをまず第一に考えて、そこらを検討いただきたいと思えますけど。

・事務局

繰り返しになりますけど、先程おっしゃられましたコスト面につきましては、西部一円の処分場ということになりますので、当然に、各市町村から近いとか、そういったところも含めたところの検討になります。米子市だけ、ということでもありませんので、その辺が状況が違っているというところと、産廃の処分場につきましては、いま条例手続きが進んでいるところでございます。これから先、どういうふうになるかは注視しているところでございますが、一般廃棄物の最終処分場につきましては、白紙の状態、いま検討しているところでご

ざいます。

- ・ A委員            それも含めて、ちゃんと検討してください。
- ・ 会 長            では、ほかに何かございますか。
- ・ B委員            4ページのナンバー11の「ごみの発生抑制の推進」なんですけども、マイバッグなどのレジ袋の削減の取組の推進なんですけども、レジ袋の有料化を実施中ということで、啓発や呼びかけをしていただいていると思うんですが、レジ袋の購入割り数というものも把握をしておられるのかということなど、マイバッグとかレジ袋、どのような推移があるか、というのを、具体的把握しておられれば教えていただきたいと思うのですが。
- ・ 事務局            ご質問、ご意見の具体の数字の方は、いま現在持ち合わせておりませんので。これにつきましては、また、関係の方に照会するなど、取り寄せる必要があると考えております。以上です。
- ・ 会 長            そのほか、ございますでしょうか。  
                              では、次の項目の説明をお願いします。

～ 事務局から資料2「進捗状況報告書」についての説明 ～

**【基本目標2】『健康で安心して暮らせるまちづくり』について**

- ・ 会 長            基本目標の2について、ご意見、ご質問ありますでしょうか。
- ・ A委員            水源保全のところなんですけども、いろいろ書いてあるんですけども、前回は言ったような覚えがあるんですけども、水源の保全ということで、地下水が多いという中で、福井水源なんかのところで、産廃の問題等々もある中で、地下水への影響というのは、いままでの有識者会議なんかでも地下水の問題は、あまり話されてなかったんですね。産廃問題の有識者からの説明会なんかのときは、吉谷先生、前からずっと米子市の水道を関わっておられる、吉谷先生なんかは、地下水のところでは、非常に地下水がどう流れていくか問題があるということを含めて言われている中で、米子市として、福井水源の近くの地下水等々の状況とかいうのを調査されるとか、そのことについて対策を立てるとか、調査をするとかいうのはされてるんでしょうか。
- ・ 事務局            米子市独自としての調査は行っておりません。それは県の方で、いま条例手

続きの中で検証されておりますし、仮にこれが終わったとして、実際の法手続きに入った場合でも、県の方できちんと調査され、法に適合した基準であればゴーサイン出されるものであると思っております。市としては、そういった状況をまずは確認して参りたいということで、直接市の方で調査ということは、いまの時点では考えてございません。

- ・ A委員            市民としては非常に不安なので。県は県だけでも、市は市として何らかの対策はあるんじゃないかと思うんですけども、そこらはどんなふうにお考えでしょうか。県にお願いしているから、大丈夫だから、という感じなのでしょうか。
- ・ 会 長            チェックは当然されるんでしょうけども、ただ水源の調査というのは、なかなかのコストが掛りますよね。県もやる、市もやるとなると、市もなかなか圧迫されるんで、ある程度その辺の内容精査は、市の方ではやらないと
- ・ A委員            なかなかそこが。地下水のところは、表に出てこないものですから。
- ・ 会 長            難しい。地下水は難しいですよ。
- ・ A委員            ですよ。地下水は、非常に。よく、水脈がどう流れているのかははっきり分からないことなんか出ていますので、是非そのへんは慎重にやっていただきたいというふうに思います。是非、チェックのところ慎重にお願いしたい。
- ・ 会 長            そのほか、何かございますでしょうか。
- ・ C委員            ナンバー33の中海の水質ということですけど、これも、おそらく、米子市としては、実際に調査したりすることはないと思います。県がやっておられることだと思んですけど。それで、特に米子湾の水質の状況ですけど、こういうのは、経年変化というか、どんなふうに移ってきているのか、特に窒素やリンあたりの、そういうのを県のデータでもいいですので、この会議でも、ちょっと紹介してほしい、いうことをちょっとお願いしておきたいと思います。ほかに、B評価で、まだ達成できないという評価だけですので、中身についてちょっと知りたいと。美保湾とかについては、なかなか難しいと思うので、米子湾に限ってだと、米子市も非常に関係が深いと思うので、中海に関しては、注視していただきたいなと思います。
- ・ 事務局            中海会議という会議がございまして、こちらの方で数字等を頂戴する機会も

ございますので、またそういったものでお示しできるものがあれば、お示ししたいと思います。それと、米子湾につきましては、米子側からの流入だけの問題ではなく、どうも島根県側からの流入の問題もあるということでございますので、そこらあたりも含めて、県の方でモニタリング等もしていただいていますし、また、国交省とそういったところについても協議をして参りたいと考えております。

- ・ C委員            よろしく申し上げます。
- ・ 会 長            そのほか、何かございますでしょうか。
- ・ D委員            8ページの浄化槽の法定点検受検率で、評価が「B」になっているんですけど、この評価の基準が、このまま推移すると目標を達成するというのが「A」ということになるんですけど、平成26年度から29年度までをみると、このブレンドでいったら、目標を達成というラインになっていくんじゃないかと思いますが。
- ・ 事務局            厳しめに評価しています。
- ・ D委員            厳しめですか。わかりました。
- ・ 会 長            全体的に「B」になっているのも、あと2年ぐらいしたら達成するかなっていうのも「B」になっているので、厳しめに付けているのかと思います。
- ・ D委員            いいことですね。ありがとうございました。
- ・ 会 長            そのほか、何かございますでしょうか。  
では、次の3から5について、説明をお願いします。

～ 事務局から資料2「進捗状況報告書」についての説明 ～

**【基本目標3】『豊かな自然と調和したまちづくり』**

**【基本目標4】『環境資源を活かしたまちづくり』**

**【基本目標5】『みんなが環境を考えるまちづくり』について**

- ・ 会 長            基本目標3から5に対して、ご意見、ご質問ございますでしょうか。
- ・ E委員            13ページ、ナンバー60の120と123は、取組事業、同じことの、水鳥公園のことが書いてあつての「○」との報告があるんですけど、いま、市の学校のみ、というふうに、年々増えてるとはお聞きしていますが、場所がとて

もバスとかでは不便というか、ちょっと遠いところであるというところであって、公園の方には来たいと言いますが、学校以外の、例えば、なかよしだったりとか、子供会を特にお話は聞いているんですが、もう少し間口が、いろんな属種を広げるということで、幅を広げることはできないのかなと思いましたが、いかがでしょうか。

・事務局

確かに、立地が非常に不便と言いますか、公共交通が行きづらい場所であるので、野鳥たちも安心して来るのかなという側面はあるんですけども、このあたりは、他の場面でも、公民館単位でとか、幼稚園についてバスをお持ちでするので良く来ていただけるんですけども、保育園についても助成がでないかというふうなご意見もいただいております、いろいろとやりたいなという思いも持っているんですけども、いま、なかなか小学校も全部が来ていない状況の中で、そこまでの態勢が整っておりませんので、今後、小学校の方でもっと実績を伸ばして、やっぱり必要な事業なんだということを認知していただいて、また、予算面でも住民の皆様が納得していただけるように、取り組みを頑張らせて進め、広げていきたいなと思っておりますので、ご意見として頂戴させていただきたいと思えます。

・A委員

関連してですけども、とっとり自然環境館も対象になるといいなと思うんです。すごい設備でやってるし、実際自分たちで体験もしながらやることもできるというのでは、環境問題で考えて、エネルギー問題を考えるとき、こういうところも、次の段階にはなるかもしれないけど考えていただきたいと思うのと、実はわたし、啓成地区の保健推進委員をやっているんですけど、保健推進委員会では、水鳥公園と自然環境館を見学をコースとして勉強しに行ったんですけど、そのときにやるのは、米子市の社会福祉協議会にあるバスを借りていくこともできるという方法もあるんですね。例えば公民館単位だとか、自治会とか、5千円で行けるということもあるので、そういうのもアピールしながら、是非行きましようよみたいなのをやっていただくといいのかなというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

・会長

そのほか、わたしからいいでしょうか。

ネイチャーセンターの入館者数の中には、この小学生の人数も入っていますでしょうか。

・事務局

はい。含まれております。

・会長

で、考えたときに、このネイチャーセンターの目標値達成は、ちょっと何か対策を、大きな対策を。難しいんじゃないかなと。29年度はたくさん来ていただきましたけど、そのあとは、小学生で。ことし、30年度に関しては、ちょっと減ってるかなという気はするんですけども。

・事務局

このあたりにつきましては、状況として、ポジティブな話ではないんですけども、いまコハクチョウの時期がやはり観光客の皆様や地元の方もよくご来館いただくんですけども、いま安来の方で、「ふゆみずたんぼ」といって、冬も田んぼに水を張っているところがかなり大規模になってまして、コハクチョウさんたちも餌とホテルが近い方がいいということで、水鳥公園の方になかなかお越しただけないと。そういう状況で。

ただ、それはそれとして、現状そうなっておりますので、水鳥公園といたしましても、今後、中海の生態系についての調査研究や、コハクチョウがいなくても皆様に何かご案内、ご満足いただけるような取り組みというのを実施していきたいなということで、次年度以降、新し取り組みをやっていきたいなというふうに思っておりますので、人数につきましては、一応目標として掲げておりますので、達成に向けて、可能な限り努力していきたいと思っております。

・会長

よろしくをお願いします。

そのほか、ございますでしょうか。

・F委員

13ページですね、ナンバー62の人材の育成というのがございますけども、環境意識を高めるという、何でもそうですけども、こういう環境について詳しく教えていく、適切なプログラムを作ったり、企画したりとか、そういうこと非常に重要だと思うのですが、まず対象はどういう人たちを対象にして人材育成をされているのか。なかなか今の時代、養成するといっても、人が集まってこないとかですね、そういうスーパーバイザー的な人がいないとなかなかうまく勉強会が成立しないと、そういう状況が多いと思うんですけども、実際に、



これはやっておられるということなんですけども、どういう人たちを対象にして、どういうプログラムで実際にやっておられるのか、実際にどれぐらい育ててるのか、地域全体が対象だと思うんですけども、そのへん、ちょっと興味がありますので、教えてください。

・事務局

このあたり、こちらにも書いているんですけども、鳥取県の地球温暖化防止活動推進センターさんの方で、様々な啓発プログラムを実施されておりまして、核となる方については、エコサポーターさんという方々が、県内それぞれに委嘱を受けておられます。で、実際、市がそこに向かって、こういうことをしてくださいということは、すみません、現時点できておりませんで、温暖化防止活動推進センターのメンバーの方々が中心になって、そういった人材育成をさせていただいているのが現状でございます。先日、1月に、そのメンバーと市町村の行政職員対象に、SDGsの考え方のワークショップに参加させていただいたんですけども、なかなか自分自身も気づきが多かったものですので、来年度は、そういった温暖化防止活動推進センターと、例えば米子市が一緒になって、市民・事業者を対象にそういった取り組みができればいいなと考えておりますので、そういった取り組みを通して、核になる人材育成に努めていきたいなと考えております。

・G委員

さっきの流れで、水鳥公園のことなんですけども、ナンバー47のところは、「C」なんじゃないかという声をちらほら聞くんですけども、横ばいなら「C」なのか、さっきのはなし、上がっていれば「B」と言っていましたけども、このままなら「C」ということも考えられるんですけども、さきほどおっしゃられたように、分析をしていて、分析に対して対策を考えているというお答えがあったので、そういうことを、ここの特記事項のところに、もう少し記入された方が。もし「B」とするのであれば、少なくとも「夏休み自由研究支援」だけではなくて、もっと中海親水性を高めていくような事業を進めていくんだということを考えて、これを「B」にしているということを書いていた方がよろしいかなと思います。

・会長

そのほか何かございますでしょうか。

よろしいですか。では、意見、ご質問、出尽くしたようですので、4「その他」について事務局からあればお願いします。

- ・ A委員           ひとついいですか。項目的にはなかったんですけども、香害というのをご存知でしょう。香りの害。香害とってのがあって、香の害で、中でも、スーパーに行ったら、その匂いで気分が悪くなるという、小学生なんかでも、2分の1くらいで、そういう予備群であるというものがだんだん出ていく中で、鳥取県は以前は啓発のポスターというか、ホームページなど載っていたんですけど、いまはなくなってるんですね。ただ、香害というのが、非常に増えていっている中で、香害についても、香の害についても、あるいは、いろいろな市町村、自治体でも条例化、条例みたいなかたちで、そういう施設でそんな匂いがグルグル感じるというのがいっぱいあるので、是非そのへんのところも、環境を守ることのひとつとして、化学物質過敏症もだんだん増えているので、是非そういうものも取り上げて考えていただきたいなど。いま、又カカのことが出ていたんですけども、新たな課題として、これまであるんでしょうけども、また新たなそういうことも課題になるということを、是非意識しておいてほしいというお願いで発言させていただきました。

・会 長           はい。では、「その他」で、何かありましたら。

・事務局           ございません。

・会 長           委員のみなさまから、その他何かございますか。

ないようでしたら、それでは、本日の議題については、以上となっておりますので、これをもちまして閉会とします。

長時間ありがとうございました。